

評議員選挙に際してのお願い

日本植物病理学会会長
ダイバーシティ推進委員会

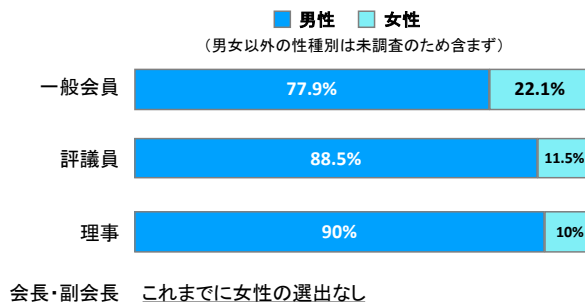
日本植物病理学会の活動に際し、いつもご協力いただきありがとうございます。
当学会では、植物病理学分野の持続的な発展のため、年齢やジェンダーの違いによる不当な差別をなくし、植物病理学分野の多様な人材が活躍できる環境づくりへの取組みを進めています。

10月14日（火）～11月4日（火）まで、令和8～9年度の評議員選挙が行われます。学会活動において、評議員は運営方針の審議、理事は業務執行の決定に関わりますが、これら学会の運営に携わる役員の女性割合は、評議員で11.5%、理事で10%となっております（下図）。また、会長や副会長については、これまでに女性が選出されたことはありません。日本全体においては、学会の役員の女性割合15.2%、学会の長の女性割合9.9%となっており（日本学術会議調べ）、植物病理学会も役員層における女性の割合は依然として低い状況にあると言えます。

ジェンダー比の是正を含めた多様性の確保は、学会内での機会均等・人材登用の推進や、新しい視点・アイデアの導入、ひいては学会のさらなる発展に寄与するものと考えます。当学会を持続的に発展させていくためにも、次期の評議員選挙では評議員のジェンダー比の是正や多様性への配慮が必要であることを考慮して、投票を行なっていただくようお願い申し上げます。

評議員選挙は、全ての会員が学会運営に意見を投じる貴重な機会となっています。選挙を通じて、より多く会員の皆様の多様な声を上げていただくために、積極的に選挙にご参加ください。我が国の植物病理学分野を支える当学会をさらに魅力ある団体にするためのお力添えをお願い申し上げます。

日本植物病理学会における一般会員および役員のジェンダー比(%)
(2025年10月現在)



“多様性の包括・受容”
ダイバーシティインクルージョンを進めましょう！
学会の活性化、我々の学問分野の発展に繋がります